

楽しく万葉集を学ぶ

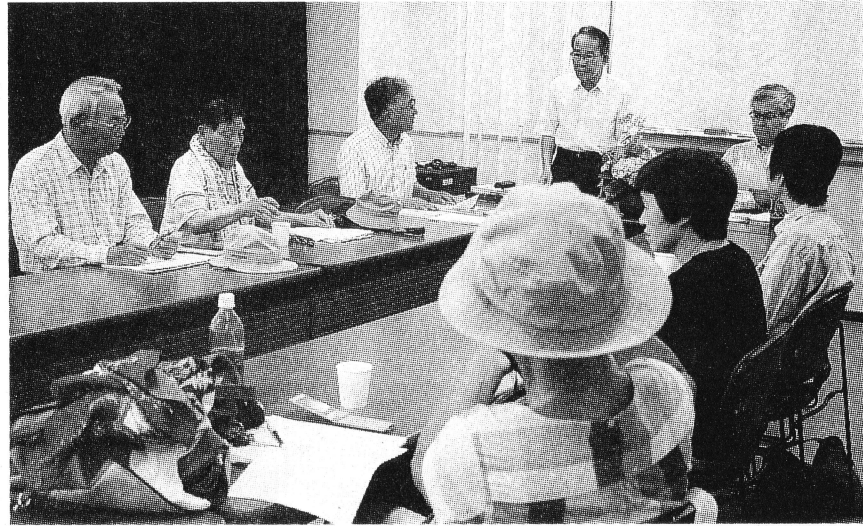
紀伊万葉ネットワーク

和歌山

万葉集の魅力に楽しくふれるイベント

「第1回万葉玉手箱」が5月30日、和歌山市の和歌山大学生涯学習センターで開かれ、地域住民ら約20人は万葉時代に思いをはせた。

万葉集の面白さや身近さを発信しようと、万葉ゆかりの地を巡るウオーキングイベントなどを開いている紀伊万葉ネットワーク（村瀬憲夫会長）が主催した。イベントでは、近畿大学名誉教授の村瀬会長が「100首以上ある万葉集を、交流を深めながら解



あいさつする村瀬会長

釈していききたい」とあいさつした後、歌人・柿本人麻呂が先

「万葉集の面白さや身近さを発信しようと、万葉ゆかりの地を巡るウオーキングイベントなどを開いている紀伊万葉ネットワーク（村瀬憲夫会長）が主催した。イベントでは、近畿大学名誉教授の村瀬会長が「100首以上ある万葉集を、交流を深めながら解

「万葉びとも恋をした」をテーマに万葉集の魅力を話した。

立った妻との思い出、歌人・大伴旅人の人柄にふれた他、宮田紀美子さんが

その後、副会長の佐々木政一さんが「万葉びとはお酒がすきだった」と題して、4500首以上ある万葉集のうち酒が登場する歌を通し